

指定管理者モニタリング及び実績評価シート（令和4年度）

| 1. 指定管理施設の概要 | | | | |
|--------------|--|-------------------------------------|-------|-----------------------|
| 施設名 | 桶川市自転車駐車場 | | 施設所在地 | 桶川市若宮一丁目5番ほか |
| 施設の設置目的 | 駅周辺の放置自転車の削減及び自転車利用の利便性の向上を図るため | | | |
| 施設概要 | ①桶川駅西口地下自転車駐車場 敷地面積:1,655㎡ 構造:鉄筋コンクリート造地下1階建 設置:昭和61年4月1日 収容台数:自転車659台、バイク115台 ②桶川駅西口第1自転車駐車場 敷地面積:1,155㎡ 構造:鉄骨造平屋建 設置:昭和61年4月1日 収容台数:自転車1,009台、バイク66台 ③桶川駅東口自転車駐車場 敷地面積:674㎡ 構造:管理事務所棟以外建築物なし 設置:平成8年8月1日 収容台数:自転車406台 | | | |
| 運営状況 | 利用時間 | ①AM6:00～翌AM0:45 ②③AM6:00～PM11:00 | 定休日等 | 1月1日～1月3日、休業する事情がある場合 |
| | その他 | | | |

| 2. 指定管理者の概要 | | | | | |
|-------------|--|--------------|----------|---------------|-------------|
| 指定管理者名(代表者) | 公益社団法人桶川市シルバー人材センター 理事長 吉田 耕造 | | 指定管理者所在地 | 桶川市北一丁目12番10号 | |
| 事業者の選定理由 | 地方自治法第二百三十四条第二項の規定により、高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和四十六年法律第六十八号）第三十七条第二項に規定するシルバー人材センターとの随意契約によることのできるため。 | | | | |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5か年） | | 施設利用料金 | 料金区分 | 使用料/利用料金制 |
| 施設所管課 | 安心安全課 | | | 有料 | 使用料 |
| 指定管理の区分 | 選定方法 | 避難所指定 | 施設管理 | 自主事業 | 目的外使用許可 |
| | 非公募 | 無し | 有り | 無し | 無し |
| 指定管理料 | 募集時上限額（5年：税込） | 225,000,000円 | | 現年度協定額（年額：税込） | 45,085,000円 |
| 指定管理者の主な業務 | 施設管理業務（①駐車場の利用の許可、変更及び許可の取消しに関する業務、②駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務、③駐車場の利用に係る料金の収納に関する業務、④災害時の施設維持管理への協力、⑤その他駐車場の運営に関して市長が必要と認める業務） | | | | |

| 3. 利用状況（5か年） | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|------|----------|--------|--------|---------|---------|------|--|
| 定期申込台数 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 一時利用台数 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | |
| 実績（台）a | 5,207 | 4,334 | 4,324 | 4,222 | | 実績（台）a | 68,413 | 48,665 | 53,537 | 56,831 | | |
| 目標値（台）b | 5,570 | 5,570 | 5,570 | 5,570 | | 目標値（台）b | 69,100 | 69,100 | 69,100 | 69,100 | | |
| 達成率（a/b） | 93.48% | 77.81% | 77.63% | 75.80% | | 達成率（a/b） | 99.01% | 70.43% | 77.48% | 82.24% | | |
| 前年比 | --- | 83.23% | 99.77% | 97.64% | | 前年比 | --- | 71.13% | 110.01% | 106.15% | | |

| 4. 指定管理者収支状況（5か年） | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|------|---------|--------|--------|--------|--------|------|
| 収入（千円） | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 支出（千円） | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 |
| 指定管理料 | 43,419 | 44,079 | 45,085 | 45,085 | | 配分金 | 31,949 | 32,859 | 32,886 | 33,686 | |
| — | | | | | | その他業務支出 | 11,469 | 11,219 | 10,067 | 10,684 | |
| — | | | | | | 市への戻入額 | 1 | 1 | 2,132 | 715 | |
| 収入計 | 43,419 | 44,079 | 45,085 | 45,085 | | 支出計 | 43,419 | 44,079 | 45,085 | 45,085 | |

| 5. 年次特殊事情等 | | |
|-----------------|---|----------------|
| 特殊事情等 ※臨時休館等 | 前年度と比較して全体的な利用状況としては微増だが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると定期利用者数は大幅に減少している。 | 年間利用日数 362日 |
| 設備投資修繕等 ※備品購入含む | 電源コンセント専用配線修繕、区画線修繕、看板修繕、屋内消火栓設備修繕、ブレーカー修繕、ITV設備改修、受付照明取替修繕、電線ケーブル指示補修を行った。 | |

| 6. 評価結果 | | | |
|----------------------------------|---|--|---|
| 評価結果 (1) 履行確認 (2) 質・効果・達成度 | 評価項目 | (1) 履行確認 (適・否評価) | (2) 質・効果・達成度 加点/減点(±1) |
| | 1. 企業倫理 | 適 | --- |
| | 2. 施設の維持管理 | 適 | --- |
| | 3. 指定管理者の義務 | 適 | --- |
| | 4. 施設の運営 | 適 | 0 |
| | 5. 社会性・環境性 | 適 | 0 |
| | 6. 事業の実施 | 適 | 0 |
| | 7. 事業収支 | --- | 0 |
| | 8. 総合面 | --- | 0 |
| 総合評価 | 評価の定義 | 総合評価ランクの点数基準 | |
| | 要求水準を満たしており、適正である。 | (1) 履行確認「全適」+ (2) 質・効果・達成度「減点なし」かつ「加点なし」 | |
| 評価理由及び次年度要望事項(選定委員会) | 施設の管理・運営について、要求水準を満たしている。利用者から寄せられる苦情に対し、報告・連絡・相談を徹底し、迅速に対応することによりほぼなくなった点は評価する。また、利用者が快適に利用できるよう、挨拶の徹底やこまめな清掃を行うなどこまやかな配慮がなされている。さらに、軽微な修繕は指定管理者自らがを行い、経費削減に努めている。今後も、利用者目線に立った管理運営に努められるよう要望する。 | |  |

| 7. モニタリング (基本項目チェック) | | | ※実施の確認 (実施・・・「○」、未実施・・・「×」、機会無し・・・「-」) | | | | | | | |
|----------------------|---------|---------------------|--|--------------|------|-----|-----|------|----|------|
| 大項目 | 評価項目 | | 評価指標 (判断基準) | 評価指標 | 募集要項 | 仕様書 | 協定書 | 事業計画 | 適否 | 総合評価 |
| | 中項目 | 個別評価項目 | | | | | | | | |
| 1. 企業倫理 | 個人情報保護 | 個人情報の保護 | ・個人情報の保護への対応 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | 適 | |
| | | 情報セキュリティ | 守秘義務の遵守 | ・秘密の保持 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | |
| | 職員教育 | セキュリティポリシーの遵守 | ・情報セキュリティポリシーの遵守 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | |
| | | 職員の研修 | ・従業員に対する適切な研修の実施 / 利益供与の禁止 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | |
| | 法令順守 | ディスクロージャー | 情報公開への適正な対応 | ・情報公開への適正な対応 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | ○ |
| | | 関係法令の遵守 | 関係法令の遵守 | ・関係法令の遵守 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | ○ |
| 再委託規定の遵守 | | | ・業務再委託についての規定の遵守 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | |
| 2. 施設の維持管理 | 安全管理 | 受動喫煙対策 | ・受動喫煙の防止についての適切な対応 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | |
| | | 警備業務 | ・警備業務の適正な実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 維持管理 | 避難訓練の実施 | ・避難訓練等の定期的な実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 施設の運転管理 | ・施設の適正な運転管理の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 保守点検 | 施設の修繕 | ・必要な施設修繕の適正な実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | | |
| | 清掃業務 | ・適正な清掃の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | | |
| | 施設の衛生管理 | ・衛生施設等の適正な点検等の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | | |
| 3. 指定管理者の義務 | 調査・協議 | 施設の保守点検 | ・施設の保守点検の適正な実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | アンケート等の実施 | ・アンケート等の実施 / 利用者満足度調査 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 市との協議 | ・市との協議の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 適正管理 | 市の指示への対応 | ・市からの指示・協議事項への理解と対応 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 備品の管理 | ・適正な備品管理 / 備品台帳の整備 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 報告 | 文書の管理・保存 | ・適正な文書の管理・保存 / 管理規程の作成 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 事業計画書の提出 | ・事業計画書等の作成及び提出 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 事業報告書の提出 | ・事業報告書等の書類の提出及び報告等の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 保険加入 | 実績報告書の提出 | ・実績報告書等の提出 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 火災保険の加入 | ・火災保険等の加入 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 4. 施設の運営 ※評価項目あり | 損害保険の加入 | ・損害賠償に対応した適正な保険への加入 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | | |
| | 危機対策 | 災害時対策 | ・適切な災害対策の実施 / 危機管理マニュアルの整備 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 5. 社会性・環境性 ※評価項目あり | 収支管理 | 会計管理 | ・指定管理業務会計の適正管理 (区分管理) / 別口座の開設 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 人員配置 | 適正な人員配置 | ・適正な人員配置 | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 窓口業務 | 統括責任者の配置 | ・適正な統括責任者の配置 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 防火管理者の配置 | ・適正な防火管理者の配置 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 6. 事業の実施 ※評価項目あり | 施設運用 | 受付業務 | ・受付業務の適正実施 / 利用許可、料金收受 (減免・還付) | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 職員の接遇 | ・適正な接遇の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 利用者への配慮 | 利用の適正管理 | ・利用時間等の変更・休館等の適正実施 / 市との協議の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 7. 社会性・環境性 ※評価項目あり | 環境対応 | 利用の公平性 | ・市民利用にあたっての公平な運営 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 省エネルギー対応 | ・省エネルギーに配慮した調達 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | 地域貢献 | 適正な廃棄処理 | ・廃棄物の処理及びリサイクル等の適正実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 継続雇用 | | ・既存職員の継続雇用への対応 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | | |
| 8. 事業の実施 ※評価項目あり | 事業の実施 | 高齢者・障害者雇用 | ・高齢者・障害者雇用への対応 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 施設の設置目的 | ・施設の設置目的に基づく管理運営の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 9. 事業の実施 ※評価項目あり | 事業の実施 | 市内中小企業者への配慮 | ・市内中小企業者への発注等の配慮 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| | | 障害者団体への配慮 | ・障害者団体への発注等の配慮 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |
| 10. 事業の実施 ※評価項目あり | 事業の実施 | 指定管理業務に係る事業 | ・施設の目的達成のため市が指定した事業の実施 | ✓ | ✓ | ✓ | ○ | | | |

| 8. モニタリング評価 (質・効果・達成度) | | | | | |
|------------------------|---------|--|--|--|----------|
| 区分 No | 大項目 | 評価項目 | 自己評価 | 市側一次評価 | |
| | | | (指定管理者コメント) | (施設所管課コメント) | |
| | | 評価の基準 | 一次評価確定評価 | | |
| No. 4 ※履行項目と重複 | 施設の運営 | 利用者数/苦情対応/接遇/利用しやすさ/清潔さ/その他 | 令和4年度の利用状況は、定期利用の申込台数が前年より102台 (△2.4%) 減少し、一時利用台数は3,294台 (+6.1%) の増加となった。令和2年1月から始まった新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、定期利用は厳しい状況が続いているが、一時利用については、回復の兆しがみえてきている。今後も報・連・相の徹底と関係部門との連携強化を図り、市民や利用者が安心して利用できる明るい雰囲気のある清潔感のある施設の維持と、従事するシルバー人材のサービス意識の向上を図っていきます。また、利用者の苦情には迅速な対応を行い問題点の発見及び解決を行っていきます。 | 利用者からの苦情は、報・連・相を徹底し、迅速に対応した為、ほとんどなかった。迅速に気が持たれ利用できるよう、挨拶の徹底、こまめに清掃を行うなど、快適な環境維持に努めている。また、利用希望者に対して、利用手続き等のサポートを積極的に行っていた。また、令和4年度に実施した利用者アンケートによると、総合的な満足度 (やや満足も含む。) は、約75%との結果から適切な管理運営がなされているものと評価する。 | (0) 0 |
| No. 5 ※履行項目と重複 | 社会性・環境性 | 市内業者への配慮/障害者団体への配慮/継続雇用/障害者雇用/雇用待遇/その他 | 物品購入及び設備修繕等の契約先は、市内業者から選定して地元の活性化を図るようにしています。また、当センターの会員は市内在住が条件で、働く意欲のあるおおむね60歳以上の方である。前年に比べ会員数及び就業者数は共に横ばいであるが、会員が健康を保ちながら、生きがいや働きがいを持って就業できるよう努めています。 | 市内業者を積極的に活用している。また、高齢者になっても、生きがいをもって健康的に就業できるよう職場環境についても配慮している点について評価する。 | (0) 0 |
| No. 6 ※履行項目と重複 | 事業の実施 | 事業の実施数/参加人数/参加率/企画内容/利用者ニーズへの対応/その他 | 令和4年度は、区画線及び看板の修繕を実施し、また、令和4年5月西公園開催の「春のふれあいフェスタ」では自転車での来場者の駐輪場への誘導を実施し、利用率向上を図った。今後も安心して利用できる明るい雰囲気のある自転車駐輪場を目指していきます。 | 利用者から寄せられる声や要望に適切に対応している。そのような細やかな配慮が、多少なりとも利用者の増加につながるものと考え、その取組を評価する。 | (0) 0 |
| No. 7 | 事業収支 | 経費削減の効果/経費削減の取組/収入増への取組/その他 | 令和4年度の歳入 (使用料徴収) は、前年度と比較して469千円 (1.8%) の増加となった。支出では配分金・光熱水道費・修繕費の増加もあり、前年度と比較して1,417千円 (+3.3%) の増加となりました。 | 配分金については、最低賃金の上昇に伴い増加しているが、少しでも経費を削減するため会員の技能を活かして、軽微な修繕は指定管理者自らが行うなど経費抑制の努力が見られた。その取組を評価する。 | (0) 0 |
| No. 8 | 総合面 | 施設設置目的の実現/その他 | 桶川市の人口は横ばいから微減の傾向にあり、通勤・通学者数についても、多くの増加を見込める状況にはないと思われます。一方、世帯数は増加傾向にあるようです。これも少子高齢化、高速道路 I C の開通や働き方の変化などから近郊に整備された住宅地が増加し、駅を利用する住民数は決して悲観的とはいきませんが、東口駅前の開発と併せて、駅や駅周辺の商業地を利用する自転車利用者を集客できるように、今後も利用者の目線に立った管理運営を心掛け、利用率の向上に努めていきます。 | 新型コロナウイルス感染症対策として定着したリモートワークなどの影響により、通勤・通学者が減少し、感染症拡大前の利用状況に回復するのは難しい状況である。しかし、当該施設の設置目的にある「放置自転車の削減、自転車利用の利便性の向上」については、近年放置自転車の数が減少し、一定の成果があげられている。利用者の減少傾向の中、施設運営が維持できており、設置目的の実現ができているものと評価する。 | (0) 0 |